

「誰もが」「いつまでも」 「住み慣れた地域で」「自分らしく」暮らし続けることができるまちづくりを目標として、これから私たちができることを、地域の方々みんなで一緒に考えるフォーラムを開催します。

みなさんが互いに支え合う地域の福祉力を高めるフォーラムに、ぜひご参加ください。

日時 7月30日(日)13時30分～16時(受付13時～)

- 3階ホール
- 内容
 - ①基調講演
演題「みんなで考えよう！地域でのささえあい」
 - 講師 〓(公財)さわやか福祉財団 戦略アドバイザー 土屋幸巳氏
 - ②パネルディスカッション
テーマ「ささえあいで安心して暮らせるまちづくり」
 - 報告者 〓社会福祉協議会増穂支部見守り活動、上谷新田区買物支援、NPO法人大網

認知症サポーター養成講座を開催します

「夏休み！親子で講座に参加しませんか？」

高齢化社会が進む日本、認知症は誰にも起こりうる脳の病気です。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族を温かく見守る「認知症サポーター」は

全国で800万人を超えています。この機会に、親子で認知症サポーターの仲間入りをしませんか？

介護支援ボランティア登録研修会に参加しませんか

介護支援ボランティア制度は、65歳以上の方が市内の介護保険施設や病院でボランティア活動を行うとポイントが得られ、そのポイントを最大5,000円(年額)の交付金と交換できるという制度です。制度への加入を希望する方は、登録研修会にご参加ください。

日時 7月21日(金)14時～(受付13時45分)

会場 〓中央公民館1階講義室

日時 7月7日(金)13時30分～15時

会場 〓中央公民館2階

日時 7月7日(金)13時30分～15時

対象 〓市内在住・在勤の方

参加費 〓無料

参加方法 〓直接会場へお越しください。

※先着200人に「トートバッグ」をプレゼントします。

〓 〓社会福祉協議会
0475(72)1995



会場 〓中央公民館1階講義室

対象者 〓小学4年生～中学生3年生のお子さんと保護者

※原則、親子参加。中学生のみでの参加は要相談。

募集人数 〓先着20組

申込方法 〓電話にて申込み

〓 〓地域包括支援センター
0475(70)0439

介護職員初任者研修・実務者研修の費用を助成します

質の高い介護人材の確保・定着を図るため、一定期間以上、市内の介護施設等で就労を継続することを条件に、介護職員初任者研修と介護福祉士実務者研修の受講に要した費用の一部を補助します。

対象 〓 次のすべてに該当する方

・住所地の市町村民税に滞納がない方

・申請日時時点で介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級研修)を修了している方、または介護福祉士実務者研修(旧ホームヘルパー1級研修または介護職員基礎研修課程)を受講に要した費用の半額(10万円未満切り捨て)または10万円のみが低い額

・申請期限 〓 12月28日(木) (郵送可)

〓 〓高齢者支援課介護保険班
0475(70)0309

補助要件

・平成28年4月1日以降に市内の介護施設等で介護職として就職し、申請日以降、3か月以上(原則、同一施設)就労を継続していること

※申請日時時点で就労していない場合も、申請日以降3か月以上就労すること

※就労形態は、常勤、非常勤勤務(パート勤務)を問いません

※対象となる介護施設等は問い合せてください

〓 〓補助額

〓 〓介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級研修) 〓 受講に要した費用の半額(10万円未満切り捨て) または5万円のいずれか低い額

〓 〓介護職員基礎研修課程 〓 受講に要した費用の半額(10万円未満切り捨て) または10万円のいずれか低い額

〓 〓申請期限 〓 12月28日(木) (郵送可)

〓 〓補助金申請総額が予算額に達し次第、受け付けを締め切ります。

〓 〓高齢者支援課介護保険班
0475(70)0309

地域包括支援センターだより

～在宅介護支援センターの活動から～

高齢者の相談窓口

在宅介護支援センターでは、ひとり暮らしの方や高齢者世帯を訪問して相談に乗っています。今回は当センターで関わった事例をご紹介します。

〈事例〉

連絡のつく親族がいないAさんは、退職後も年金でひとり暮らしを続けていました。

Aさんが生活しづらくなったのは、物忘れが出てきてからです。もともと几帳面な性格でしたが、しまった財布や通帳が見つけれなくなったのです。なくなる不安から更に別の場所に片付けてしまい、いつも探し物で困っていました。わからなくなってきた不安が強くなると、「忍者が物を盗っていった」「沢山の黒い虫が出てきた」「ベッドが飛び跳ねた」等、ますます不安が増大し、一人でどうしたらいいのかわからなくなってしまいました。

地区の民生委員さんが当センターに連絡して、私たちとの関わりが始まりました。最初は何度もじっくり話を聞いてAさんの不安を共有してから、不安を解決し日常生活を続けるためにはどんな支援ができるか提案し、一緒に考えていきました。

不安でいっぱいの中、Aさんがなんとか生活できたのは、周囲の方の支援があったからです。「ガスがつかない、電球が切れたなど日常生活のちょっとした困りごとを親身になって手伝ってくれたアパートの大家さん」「定期的に訪問してくれた民生委員さん」「お金をおろす時に伝票の書き方を毎回丁寧に教えてくれた金融機関の方」など関わりのある人が「変な

人だ」と背を向けることなく、できることを当たり前のように手伝い関わってくれたおかげでした。

いい方向に向かっていく矢先、Aさんは体調を崩しあっけなく他界してしまいました。火葬の時は集団就職の時から知人が最期を見送ってくれました。また、アパートの片付けには、関係者が集まりAさんをしのぶ会になりました。物忘れが出てきてからも、周囲の方との関わりや繋がりがあったおかげで幸せな晩年を過ごせたと思います。

人は一人では生きていけません。そして物忘れは《誰もがいつか通るかもしれない道》です。どんな人も「変な人」と排除されることなく、縁があって知り合った人同士で関わりを持ち、ともに暮らしていける社会であって欲しいと願っています。

〓在宅介護支援センターは、地域と高齢者をつなぐ窓口として、介護保険はもちろん、日常生活に関するさまざまな質問・相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

〓地域包括支援センター

0475(70)0439

FAX 0475(70)1093

在宅介護支援センター-おおあみ緑の里

0475(73)5146

在宅介護支援センター-杜の街

0475(70)1666

いきいき元気クラブ参加者募集

高齢になっても、いつまでも元気に生活できるように、からだづくりをしませんか。自宅で簡単にできる運動や「ロコモ体操」を紹介しますので、今の健康を保つためにも、実際にからだを動かして、気持ちのいい汗をかきましょう。

▶対象=市内に住所を有する65歳以上の方

- ▶参加費=無料
- ▶申込方法=申込不要 ※直接会場にお越しください。
- ▶持ち物=水分補給のための飲み物と汗拭きタオル ※大網白里アリーナは上履きが必要です。
- ▶その他=運動ができる服装で参加

〓高齢者支援課高齢者支援班 0475(70)0332

〈7月の予定〉 ※8月以降の予定は各会場でお知らせします。

会場	実施日	時間
保健文化センター 3階ホール	3日・10日・31日 ※月曜日	10時～11時
大網白里アリーナ サブアリーナ	6日・13日・20日・27日 ※木曜日	13時30分～14時30分
農村環境改善センター いずみの里	7日・14日・21日・28日 ※金曜日	10時～11時

